



株式会社日本総合研究所 50周年記念 「次世代の国づくり」シンポジウム 第三弾

# スマート農業が興す “農村デジタルトランスフォーメーション”

近年、農業法人化や企業の農業参入が活発になり、各地で「儲かる農業」の成功事例が生まれています。特に、IoTやAI等を活用したスマート農業が実用段階となり、農業のイノベーションが加速しています。他方で、GDPの約1%に過ぎない農業に、地域活性化のすべてを背負わせるのは難しいという現実があります。

農業と地域の現場の課題を紐解くと、農業や田舎暮らしに憧れる者の多くが、農業の難しさや田舎の不便さゆえに短期間でギブアップしている状況が見えてきます。そのような課題を解消し、農業を起点に活気ある地域を創るには、農村全体をデジタル化(デジタルトランスフォーメーション)し、「儲かるビジネスがあり、かつ住みやすい農村」を実現することが重要となります。

本シンポジウムでは、食料・農業・農村政策審議会委員、農研機構アドバイザーボード委員長等を務める弊社・三輪泰史より、“農村デジタルトランスフォーメーション”のコンセプトと具体的な実現策を提唱します。さらに、Uターン就農をした方や、ドローン活用に取り組む方など、農業の現場で活躍する多彩なパネリストの方々をお招きし、“農村デジタルトランスフォーメーション”を通じた活気あふれる農業と農村の未来について、各地域での具体事例を交えたパネルディスカッションを行います。

**日時** 2019年3月18日(月)14:00~17:00 (開場13:30)

**会場** 日本橋三井ホール

**COREDO室町1 5階(エントランス4階)** 右記地図  
東京メトロ 銀座線・半蔵門線「三越前」駅直結 A6出口  
JR 総武線快速・横須賀線「新日本橋」駅地下道直結

**定員** 500名 参加費無料

**お申込** 2019年3月11日(月)までに下記ホームページ  
よりお申込みください。

[https://www.jri.co.jp/seminar/190318\\_497/detail/](https://www.jri.co.jp/seminar/190318_497/detail/)



※ 会場の都合上、定員に達した場合、申込み締切とさせていただきます。なお、応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。当日は参加証を印刷のうえお名刺と共にお持ちください。

## プログラム

<b>開会挨拶</b>	瀧崎 正弘	株式会社日本総合研究所 代表取締役社長
<b>第一部</b>	<b>問題提起 「スマート農業が興す“農村デジタルトランスフォーメーション”」</b>	
	三輪 泰史	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート
<b>第二部</b>	<b>パネルディスカッション</b>	
[パネリスト]	古口 達也 氏	栃木県茂木町長
	深山 陽一朗 氏	深山農園株式会社 代表取締役
	稲田 悠樹 氏	株式会社コマンドディー 代表取締役 兼ドローンパイロット 一般社団法人救急医療災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会 理事長
	小谷 あゆみ 氏	農業ジャーナリスト/フリーアナウンサー
	三輪 泰史	株式会社日本総合研究所 創発戦略センター エキスパート
[モデレータ]	井熊 均	株式会社日本総合研究所 専務執行役員 創発戦略センター所長

途中休憩あり

## ■お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シンポジウム事務局 担当:前嶋・清水  
〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目10番2号 東五反田スクエア TEL:03-6833-6565



**パネリスト プロフィール <登壇順>**

**古口 達也 (こぐち たつや) 氏** 栃木県茂木町長



1977年中央大学法学部卒業。2002年から現職。現在5期目。「雇用の確保」「移住・定住の促進」「子育て支援」を柱に「観てよし」「住んでよし」の町を目指す。また、中山間地で「儲かる町」を実現するため、道の駅事業やたい肥センターを核とした循環型システムの構築、地元木材による施設建設等にも取り組む。

**深山 陽一郎 (ふかやま よういちろう) 氏** 深山農園株式会社 代表取締役



2005年京都大学農学部資源生物科学科卒業、2007年京都大学大学院農学研究科地域環境科学修了。同年株式会社三井住友銀行入行。農業や再生医療などの新規事業開発を担当。2016年実家のしいたけ専業農家を事業承継し、深山農園株式会社を設立。「食を通じて、人と人をつなぎ、たくさんの笑顔を咲かせます」を経営理念とし、社員、お客さま、取引先、地域社会の笑顔のため、事業拡大に取り組んでいる。

**株式会社コマンドディー 代表取締役 兼 ドローンパイロット  
一般社団法人救急医療災害対応無人機等自動支援  
システム活用推進協議会(略称EDAC) 理事長**

**稲田 悠樹 (いなだ ゆうき) 氏**



1984年熊本県出身。様々な企業を経験後、2015年独立。2016年1月EDAC設立。2017年12月株式会社コマンドディー設立。ドローンパイロットとして総飛行時間400時間以上。現場に入りつつ、企業や自治体のドローン活用の企画、コンサルティング、パイロット講習等も行う。空撮実績：熊本地震 被害状況調査各所、テレビ朝日 ポツンと一軒屋、日本航空どこかにマイル等。実証実験：総務省 身近なIoTプロジェクト、JUTM 日本無人機運行管理コンソーシアム等。執筆：玄光社ドローン空撮GUIDEBOOK(2016, 2017, 2018)等。

**小谷 あゆみ (こたに あゆみ) 氏** 農業ジャーナリスト/フリーアナウンサー



関西大学文学部卒業。石川テレビを経て2003年からフリー。野菜をつくる「ベジアナ」として農のある都市の暮らしから、農業農村の多様な価値、都市と地域のフェアな関係、互いが喜び合える持続可能な食をテーマに取材・講演活動。NHKEテレ「ハートネットTV介護百人一首」司会として出演中。農林水産省 食料・農業・農村政策審議会臨時委員ほか。兵庫県出身・高知県育ち。日本農業新聞ほか連載。

**－ 株式会社日本総合研究所 －**

< 問題提起 > **三輪 泰史(みわ やすふみ)**  
< パネリスト > **創発戦略センター エクスパート**



2004年東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻修了。同年株式会社日本総合研究所入社。現在、創発戦略センター・エクスパート。株式会社農林漁業成長産業化支援機構(A-FIVE)社外取締役、農研機構アドバイザーボード委員長、農林水産省(食料・農業・農村政策審議会委員他)、内閣府等の有識者委員を歴任。専門は、農業ビジネス戦略、農業IoT・スマート農業等の先進農業技術、農産物のブランド化、日本農業の海外展開、1次産業を核とした地域振興等。

< モデレータ > **井熊 均(いくま ひとし)**  
**専務執行役員 創発戦略センター所長**



1983年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年三菱重工業株式会社、1990年株式会社日本総合研究所、2006年執行役員、2014年から現職。環境・エネルギー分野でのベンチャービジネス、公共分野におけるPFIなどの事業、中国・東南アジアにおけるスマートシティ事業の立ち上げなどに関わり、新たな事業スキームを提案。公共団体、民間企業に対するアドバイスを実施。公共政策、環境、エネルギー、農業などの分野で70冊の書籍を刊行するとともに政策提言を行う。